豊かな自然の中で
育まれた
京丹波の民俗芸能

和知太鼓練習場

京都府船井郡京丹波町篠原堂ノ下31

（京丹波町わち地域交流拠点施設 「わち夢広場」内）

発行:一般社団法人　森の京都地域振興社

（森の京都DMO）

森の京都

和知太鼓

WACHITAIKO

http://wachi-taiko.com/

起源
source

和知太鼓の起源は、お伽草子「酒呑童子」といわれています。
今から約千年前、摂津守・源頼光が帝の命を受け、当時の反逆の徒（大江山の鬼）を討つため、多くの部下を従えて京の都を出発。
園部、須知を経て、和知庄の草尾峠にさしかかったところ、激しい雷雨に見舞われ、雨やどりしたのが京丹波町（旧和知町）字広野の藤森神社でした。
雨もあがり、いざ出陣。この時に村人たちが頼光の武運長久を祈願するとともに、兵士の士気を鼓舞するため、打ち鳴らした太鼓が「和知太鼓」の発祥といわれています。

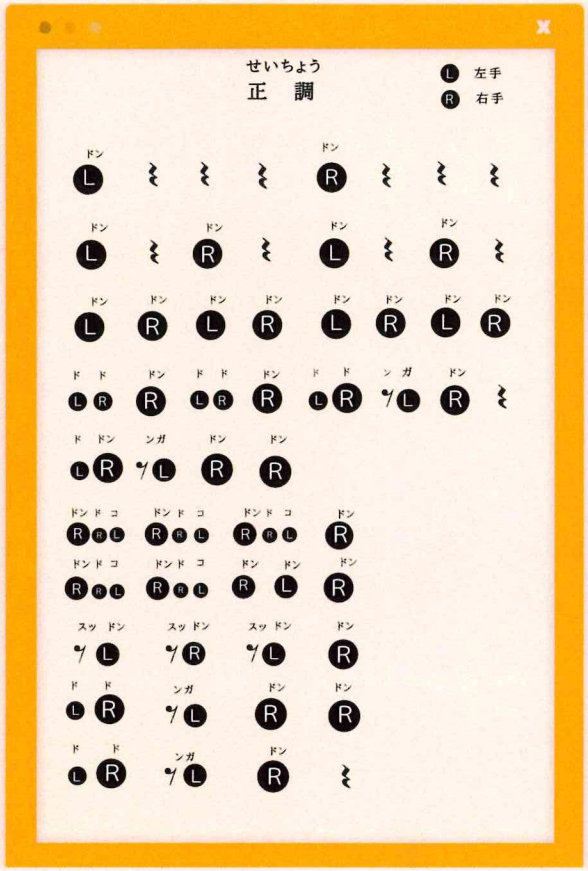
始まりの地
birthplace

藤森神社　（京都府船井郡京丹波町広野宮ノ前）

和知太鼓発祥の地であることを示す石碑

太鼓のリズム
rhythm

太鼓一張に一人が地打ち、もう一人が大打ちという演奏が基本形です。



時代の流れとともに様々な形で表現され、
今日では篠笛、締太鼓、鉦などを取り入れるなど、
より勇壮で華やかになっています。

チェック！　森の京都　京丹波町の民俗芸能

「和知太鼓」

「京丹波町の伝統芸能」

活動のご紹介
activities

保存会は、昭和40年に、それまでの「和知民芸保存会太鼓部」から「和知太鼓保存会」に名称を変更し、発足しました。
会員は、週2回の定期練習に参加。旧校舎を活用した和知太鼓練習場を拠点に活動しています。

町内外でのイベントへの出演や、コンサートへの出演など、演奏活動も精力的に行っています。

継承

芸能伝承のため、地元小中学校にて指導を行っています。また、ご依頼に応じて他団体へのワークショップも開催しています。近年では、東京の太鼓スタジオで開催されるワークショップの指導など、活動の場を広げています。

保存会では、演奏や指導、ワークショップ開催のご依頼を受け付けております。
お気軽にお問い合せください。